

議題1 令和3年度学校給食事業について

「1-1 施設設備関係」に関して

- 老朽化に伴い整備・修理に大変だと思います。しかし、施設設備の不備は給食の異物混入等の事態を招きます。安全安心な給食提供のためをお願いしたいです。（上田委員）
- 老朽化が進み、施設設備の急な不具合にもすぐ対応してくださりととても助かっています。安全安心な給食のためにもよろしく願いいたします。（菊地委員）
- より安全な給食の提供には、施設設備の充実や修繕などのメンテナンスが不可欠ですので、今後も点検作業の実施を継続してほしいと思います。（石川委員）
- 調理機器等の老朽化等が心配です。突然の故障等を防ぐために事前の整備をお願いします。（山下委員）
- どの学校も調理場も、施設や設備、備品が老朽化しているようです。その中で、計画的に改修や点検、修繕や新規購入していただいていることに感謝しております。今後も大切に使用していきたいと思います。（沖永委員）
- 急な修繕にも対応していただき、ありがとうございます。（阿部委員）

事務局：調理・提供業務に直結する施設設備・機器類の修繕・更新等につきましては、早急な対応・改善に努めておりますが、バックヤード関係（休憩室・お手洗い・倉庫他）の不調については、長く不便をお掛けして申し訳ありません。限られた予算ではありますが、優先順位を付けさせていただき、順次対応予定です。今後もより安全安心な給食を提供できる環境の維持に努めてまいります。

- 必要な物の購入及び修繕等は重要だが、代用できるものは代用すべき（鶴岡委員）

事務局：学級減・未使用等による余剰備品類については学校側へ他校転用のご協力をいただき、調整を行っているところですが、今後は益々厳しい財政状況が見込まれるため、代用できるものは代用で対応いただくなど、給食提供業務に支障をきたさない範囲で今後ともご協力を呼び掛けていきたいと思います。

「1-2 調理業務委託関係」に関して

- 前に勤務していた吉岡小（協立給食）は学期ごとにしっかり挨拶に来ていただき、調理員リーダーも含めミーティングをしていました。調理場になってから作っている人の顔が見えません。本校に栄養教諭がいるので連携に不足はありませんが、他校（北部提供の）はどうでしょう。自校式との差を感じます。（上田委員）

事務局：共同調理場では、現在、毎学期末に給食運営委託業者のマネージャー、調理員のチーフ及び副チーフ、栄養教諭並びに所長がミーティングをしていますが、ご希望がございましたら、配食校の先生方にミーティングに加わっていただくことを検討してまいります。

- 委託会社によっては作業能力などに多少差があるかと思いますが、現場の栄養教諭と協力して、子ども達に安心安全な食事を提供して欲しいと思います。（石川委員）

事務局：施設設備や食数、アレルギー対応等を考慮し、現場の栄養教諭等が献立を作成しています。今後も子どもたちに喜ばれる安心安全な給食の提供に努めます。

- 学校及び共同調理場によっては給食の味・メニューに不満があると話を聞いている。（鶴岡委員）

事務局：栄養豊かなバランスのとれた学校給食を提供するため、給食施設の栄養士等が献立を工夫しているところです。今後も子どもたちに安心安全な給食を提供できるよう努めてまいります。

- 契約期間を3年4ヶ月とし、次回の契約を夏季休業中に行えるようにしたことはとても良いと思います。年度末から年度初めの混乱を避けられます。また、複数の業者に委託していることも良いと思います。（沖永委員）
- 契約期間の変更により夏季休暇中に対応が可能になり助かります。（菊地委員）
- 契約期間について検討していただき、ありがとうございます。良いと思います。（阿部委員）

事務局：年度始めの4月は、学校給食に関係する学校・委員会共に人事異動も多い時期です。もし給食委託業者の切り替えが4月に重なった場合、双方が混乱、給食提供に支障をきたしかねません。それらを回避する策として、より準備時間を取れる夏季休暇中の契約切り替えに変更いたしました。今後も現場負担を少しでも軽減していけるよう努めてまいります。

「1-3 衛生管理（巡回指導・研修）」に関して

- 巡回指導時に設備などの話が出来て助かります。（菊地委員）
- 各校の現状を見ていただけたのでよかったです。（阿部委員）

事務局：給食施設（学校等）の協力により、現状確認の機会を度々いただくことが出来ました。施設巡回を通し、現場の状況を知ることで、施設設備の改善につながられましたので、今後も給食施設（学校等）のご協力をお願いします。

- 巡回指導や衛生管理の研修は重要ですので、今後も継続してほしいと思います。又、このコロナの中で常に衛生に配慮されていることに感謝いたします。
(石川委員)
- 衛生管理の徹底は今後も続けてもらいたい。(鶴岡委員)
- 学校職員が管理することができないだけに、指導課の方が定期的に給食施設を巡回していただきとても助かります。また、研修会を開催して、衛生管理の意識をより高めていることも良いと思います。(沖永委員)

事務局：次年度も施設巡回を実施し、より良い給食の提供となるよう、各栄養士と連携したいと思います。

- 巡回に関して1回の場所と2回3回の場所があるのはなぜですか？その詳細も載せて頂きたい。
研修会に関して参加者が10名しかいないのはなぜですか？通常なら各施設から1人以上参加するべきものなのかとは思いますが。衛生管理であるならなおさら。
(高山委員)

事務局：令和3年度の施設巡回のうち、中学校区ごとに同じ献立を提供する「統一献立」等、取組内容によりすべての給食施設に同回数巡回をすることは出来ませんでした。学校等の協力を得ながら、今年度も取り組んでまいります。
また、本市の給食の提供体制としては、単独調理校が9校、共同調理場が2か所(8校分)となっています。市で実施する研修会に関しては、共同調理場の受配校の給食配膳員を対象としているため、令和3年度の研修会参加者は10人となっています。

「1-4 学校給食費・収納状況」に関して

- 給食費未納家庭は全ての学校納入金が滞っています。強い未納対策を…と思うところです。(上田委員)

事務局：給食費が未納となっているご家庭には、未納通知等を送付し、給食費の納付を促すとともに、分割納付等各家庭の状況に応じた対応を図っているところです。引き続き収納率の向上に努めてまいります。

- 給食費の公会計化は、四街道市のよいところの1つです。担当されている方の負担はとても大きいと思いますが、学校としてはとてもありがたいです。働き方改革の1つともなり、児童生徒と向き合える時間が増え、教育活動にも大きな成果を上げることができます。
収納率が90%台後半というのは素晴らしいです。未納者に対して、いろいろと対策を講じられていることに感謝申し上げます。(沖永委員)

- コロナ禍での徴収は大変かと思えます。給食費の速やかな納入を望みます。
(菊地委員)
- 給食費未納者に対してのご苦勞お察し致します。ありがとうございます。
(高山委員)

事務局：学校におきましては、文書の配布等にご協力いただきありがとうございます。
引き続き文書催告・臨戸訪問等により、収納率の向上に努めてまいります。

- 回収等に一定の成果が得られていることは良いことですが、今後は経済的に苦しいご家庭も増加してくるのではないかと思います。(石川委員)
- 滞納繰越分の低い収納率が気になるようです。経済的困窮家族にはコロナ対策支援等で対応できないでしょうか。(山下委員)

事務局：学校給食は学校給食法に基づき、本市では食材費のみ保護者より徴収しているところです。指定された納付期限までに納付が難しいご家庭には分割納付等の相談に応じて引き続き対応してまいります。

- 法的措置を行うまで支払いをしない理由は何なのか。未納家庭については弁当持参でもよいのでは。(鶴岡委員)

事務局：経済的困窮を理由として未納となっているご家庭につきましては、就学援助制度の案内や分割納付等により対応を図っているところです。その他の合理的な理由のない未納家庭につきましては、再三の文書催告・臨戸訪問等に対し一切の連絡がない家庭もしくは分割納付の約束を反故するなど、支払いの意思が希薄であると判断した家庭を対象として法的措置を実施しております。

また、学校給食は児童生徒の心身の健全な発達に資するものであることから、アレルギー等の理由による場合を除き、全児童生徒に提供しております。

「1-5 その他」に関して

- 材料費、光熱費の値上げの中、この金額で安全安心でおいしい給食の提供が可能なのか心配です。栄養士さんのやりくりだけでは難しくなっているのではないのでしょうか。(上田委員)
- 学校給食費に関して市栄養士会でも毎年検討しています。(菊地委員)
- 春からいろいろな食品の値上げが予定されていますので、給食の質を落とさない為にも給食費の改定が必要ではないかと思えます。(石川委員)
- 現在、仕入れ値が上がっていると思う。必要に応じて学校給食費の値上げもやむを得ないのではないか。(鶴岡委員)
- 社会情勢に合わせ、学校給食費の見直しが必要になると思いますので、ご検討よろしく願いいたします。(阿部委員)

- この1～2年、原油の高騰による輸送費、光熱費等の値上げからほとんどの食材の値上げにつながっております。現在の給食の質を低下させないためにも、給食費の値上げについて検討するべきではないでしょうか。給食の回数を減らして給食費を上げない措置は取らないでいただきたいです。登校する日は基本的に給食を提供したいと思います。給食がないことを理由に授業数を減らすわけにはいかないので、是非お願いします。
給食費を値上げすることが、準要保護など市の財政を圧迫することも承知しておりますが、最近の物価高は保護者の方も理解していることなので、今がよいタイミングだと思います。(沖永委員)

事務局：本市の学校給食費は、年額を定めて徴収し、その金額を給食の食材費のみに使用しているところですが、社会情勢や物価の変動を鑑みると、給食施設の栄養士等の方々には例年以上の調整をしていただいているところです。

栄養バランスを整えた学校給食を引き続き提供するためにも、今後、本給食運営委員会において、給食費の検討を行う必要があると認識しております。

- 学校給食は子どもたちにとってなくてはならないものだと思います。その中でコロナや家庭状況により納付ができないこともあります。それが子どもに影響するようなことがあってはならないと強く思っています。今後、公費でまかなえるようにしていかなければいけない案件の1つだと思います。(高山委員)

事務局：栄養豊かなバランスのとれた学校給食を提供するため、学校給食法に基づき、本市では食材費のみ保護者より徴収しているところです。

経済的困窮を理由として未納となっているご家庭につきましては、就学援助制度の案内や分割納付等により対応を図っているところです。

議題2 令和3年度「食に関する指導」について

『「2-1 食生活アンケート」結果概要』に関して

- コロナ禍で家庭の差が出る一年でした。食を大切にしている家、コンビニ弁当の家、食事にお菓子という家。アンケートは前年同等で安心しました。(上田委員)
- 給食が好きという割合が高いのは嬉しいですね。また、他の項目についても増加傾向にあるというのは、日頃からの食育の効果だと思います。これからも児童生徒の食文化の関心を高めていけるように働きかけていきたいです。(沖永委員)
- 市栄養士会でも「元気な四街道っ子」を育てることを目指し、これからも活動していきます。(菊地委員)
- アンケートの結果の内容について良い面に対しての%しか書いておらず、全体が見られる表やグラフがあったほうがいい。あと、小5、中2のみではなく全学年で調べてみてほしい。(高山委員)

- 昨年度よりもよい結果となっているのは素晴らしいことだと思います。(石川委員)
- アンケート用紙より結果のグラフなどがあるともう少しわかりやすかったかなと思います。(小谷委員)

事務局：食生活アンケートについては、毎年、小5、中2を対象に実施し、経年で比較してきたところです。今後、アンケート対象等については検討するとともに、わかりやすい結果公表に努めてまいります。

- 地場産業、旬などについては社会科と連携していけるとよいと思います。以前NHKの番組で四街道の食材を紹介していましたが、とてもよかったです。(山下委員)

事務局：社会科や家庭科等における、教科横断的な学習の取組となります。各学校の実態に応じた年間指導計画があるため、市内で統一した計画にすることは難しいですが、児童生徒の学びに有効な取組になると思いますので、ぜひ、職員間の連携を図りながら実践していただきたいと考えます。

- 当委員会は学校給食運営委員会であるので、もっと給食に関してのアンケートを実施したほうが良いのではと思う。特に調理場ごとに集計し、人気メニュー、不人気メニューなど情報の共有を行ってほしい。(鶴岡委員)

事務局：学校給食においては、リクエストメニューや家庭科の授業によるメニューを実際の給食で提供するなど、学校ごとにさまざまな取組を行っているところです。また、学校栄養士会で献立検討会を行い、献立等の情報交換を行っています。これからも栄養士等の情報交換も含めて、栄養豊かな給食の提供に努めてまいります。

「2-2 弁当の日」に関して

- 弁当の日の朝は部活朝練なし。そうやっても11:00、12:00近くにお弁当を届けにくる家庭もあります。負担はあるのでしょうか。
市ではタブレットを全家庭に使えるよう配付していただきました。夏季休業中に“お弁当を作ろう”ということで、タブレットで写真をとり、HPにアップする(お弁当コンクール・コンテスト)など新しいやり方で進めるのもいいのかなあと思います。(上田委員)
- 四街道市弁当の日事業が始まり9年程がたったと思います。近年は感染症対策、食中毒対策等、実施が困難になっています。家庭における調理の手伝い等実態に即した形にしていければと思います。(山下委員)
- 弁当の日は、季節を考慮する必要があるが、もっと増やすべきだと思う。
学校での調理実習が出来ない分、一品課題を作成するなど各家庭で行うことが必要ではないか。(鶴岡委員)

- 弁当の日については、継続して実施しているので定着してきましたし、保護者の方の理解も得られています。家庭科の授業でも取り上げており、調理についての知識や技能を高めることだけでなく、親への感謝など児童生徒にとって多くのことが身につけられる行事になってきました。(沖永委員)

事務局：児童生徒一人一人が、心身の成長や健康の保持増進の上での、栄養の取り方や食事のあり方を理解できるようにするため、食物を大切にし、食にかかわる人たちへ感謝の心をもつことができるようにしていきたいと考えます。今後も引き続き、食育の一環としての「弁当の日」の取組をお願いいたします。

- 「弁当の日」を今後継続してほしいと思います。(石川委員)
- 保護者の間では不評の声もあるようですが、実施できているところは年3回もやれているので今後もつづけていけると良いですね。(小谷委員)
- コロナ禍ではありますが、実施できて良かったと思います。(阿部委員)

事務局：学校、職員、家庭のご理解とご協力により、学校ごとに工夫した取組を実施することができました。中学生は、弁当1食分を自分で作ることを目標にしていますので、それまでの実践の積み重ねが大切です。今後も、各学年の発達段階に応じた取組をお願いいたします。

その他のご意見等

- この「コロナ禍」何事もなく給食運営ができるのは、素晴らしいことだと思います。これからもよろしくお願いします。(東委員)
- コロナウイルスの感染予防で現場の先生方は大変な心くばりをしていると思います。最近は食に関する指導よりコロナ対策だと思う方々もいると思いますが、大声で話さない、換気して空気の入替えをするなどの食指導は以前から実施してきたことで、これからも大切な指導だと思います。(石川委員)
- コロナ禍により給食の時間も大きく変わってきています。しかし、「生涯にわたって生き生きとした生活を送ること」の基盤は変わりません。これからも学校給食の役割を果たせるよう市栄養士会でも取り組んでいきます。(菊地委員)
- いつも安心・安全でおいしい給食を提供していただきありがとうございます。いろいろな市町の給食を食べてきましたが、四街道市の給食が一番です。給食にかかる予算はとても大きいですが、子どもたちの健康な体をつくり、豊かな心を育てている四街道の給食を今後ともよろしくお願いします。(沖永委員)

事務局：施設巡回をとおり、新型コロナウイルス感染予防に対応する給食時間の過ごし方に児童生徒も慣れてきていると感じています。今後も食文化を伝えたり、環境に応じた給食を目指します。

- 今年度 2 回とも書面開催になってしまっていて残念だったが、今まで知らなかった事も知ることができたのでとても勉強になりました。(高山委員)
- 給食試食会が出来なかった為、実際の給食の味を知る事が出来なかった。子ども達と給食についてもっと話を聞いてみたい。(鶴岡委員)

事務局：委員の方々には書面開催にも関わらず多くのご意見をいただき、感謝しております。頂いたご意見を受け止め、より良い学校給食の提供のために活かしていきたいと考えております。